



# さくらたより

令和4年度 学校だより  
NO. 20  
令和4年12月14日発行  
山形市立桜田小学校

## 学校評価アンケート 「対応・考え等」の速報

75.9%の回答率でした。ご協力ありがとうございました。集計を元に、今すぐできること、3学期すぐにも取り組めること、令和5年度以降の教育課程編成に役立てていくこと等、対応を検討中です。

文章記述によるご意見を多数お寄せいただきました。ご意見に対して、今の段階では全てにお答えすることはできません。お答えできるものについてのみ、このたよりでお答えします。ご了承ください。

### 金管バンド〔東北バンドフェスティバル録画収録の時に保護者参観を予定（1月）〕

- 子どもたちの成果を直接観る機会を設けてもらえないか
  - 東北バンドフェスティバル参加が決まっています。その録画収録時に、保護者の方々にも体育館で演奏を聞いていただけるように、計画中です。4年生も演奏に参加することを想定して練習を重ねています。日時が決まり次第お知らせいたします。

### 学校生活に関わって

- 頭ごなしに叱るのではなく、まずは話を聞いて、必要な指導をしてほしい
- 「できない」と決めつけて接することは、教師として、大人として、しないでほしい。
  - 子どもが荒れた心になる一つの要因に「分かってもらえない」があります。表面の行為だけでいきなり叱られると、「分かっちゃいない！」と反発の気持ちが生まれて当然です。積み重なると子どもの心はすさんでいきます。このようなご意見を受け、私たち職員、気持ちを新たに、子どもたちとの接し方を顧み、直すべきところは直していきます。
- 呼び捨てはしないように改善してほしい
  - これは継続して指導しています。行き届いていないことを反省し、改めて子どもたちに指導します。このことは学童保育の先生とも確認しています。連携して取り組みます。
- 寒いときの体育 一体が温まるまで上着の着用をー
  - 体育着は薄いので、これからの季節、柔軟な対応をして参ります。
- クラスがにぎやかで、授業に集中できない時があると聞いたことがある
  - 「学校全体で子どもたちを支える」ことを行っています。複数の目で見守り、励まし、叱責し、改善に向けて取り組み中です。〔教室の整理整頓・学習規律の再確認と徹底・授業の緻密な準備・子どもが抱える不満の要因の聞き取りと改善に向けた働きかけ・乱暴な言葉などへの指導・必要な叱責と指導 など〕
- 子どもの気持ちにもっと寄り添ってほしい
  - どうすること（具体）が心に寄り添うことにつながっていくのか、模索し、できることをやっています。

### 「新型コロナウイルス感染症」を巡って

- 「行事ができなくて残念だ」という話しは以前より少なくなってきた。尚一層、コロナ前と比較して現状がマイナスであるかのような印象を児童が持たないようにお願いしたい。
  - コロナを巡るこの状況が当たり前だとする子が、学校全体の半数です。「今」を、今できる最善で生きている」ということに、子どもたちも私たちも誇りを持てるように取り組

み、話をしていきます。

○マスク着用について、学校でのフォローの必要性を感じる。「マスクをつけない者は悪」のような考えが子どもたちの間に蔓延しているのを感じる。

→ 学校は「集団生活」「密着するのが子どもの世界」であることから、今までマスク着用を厳しく求めてきました。それが、ご指摘のように子どもたちの考えに影響していることは否めません。

コロナを巡る状況が変わってきました。ご意見にある「必要な場合にマスクをつければよい」「マスクをつけないことは悪ではない」等の指導をしていきます。必要な場面か必要でない場面かの自己判断は、年齢が低いほど難しく、そのため、大人が全体で「マスクしてね」と言う場合が多いのが現実です。「つけないことが悪ではないのだ。でも、この場面は、今はどうしてもつけてほしいのだ」と、お願いしていきます。

「場面を正しく認識できる」「自分で判断できる」ことは、マスク着用だけではなく、様々な場面での危険予知・危険回避の力にもなっていくのではないかと思います。職員の中で考えを共有し、子どもたちへの指導を行っていきます。

教室での学習・生活時間帯は「マスクをつけなければならない状況」です。まだしばらく続くことはご理解ください。

## その他

○オンライン授業を ○持ち物（鉛筆、ペン） ○本のリクエスト ○昇降口の防犯対策を

○予定等お知らせを早く ○宿題が多い、少ない ○配付物のメール添付で事務効率を

→ これから話題にして、対応を決めていきます。

## 励ましの声もたくさんいただきました

○たてわり班掃除の時、上の学年の子が、すぐ答えを出さずに、自分で考える時間をくれたようだ。家では一番幼いものだから何でも教えてもらうのが常だが、こうやって「自分で考える」というやりとりをしていてくれると知って、うれしくなった。

○違う学年の交流があって、とても良いと思う。

○「一人ひとりみんな違って当たり前」と、お友だちを尊重する言葉が出るなど、日頃の先生方の子どもたちへの接し方のおかげと、感謝しています。

○息子の発達凸凹や特性を理解して対応してくださっているの、本当にありがたいです。

○「面倒くさい」「やりたくない」「つまんない」というような発言が増えてきました。難しい年頃です。そんな中で、担任の先生はやる気を引き出してくれていると感じます。

○子どもたちに平等に接していただいていると感じています。優しい顔が増えました。

○クラスの雰囲気も落ち着いたようで、勉強に集中できる環境が整ったようで嬉しいです。

○クラスの雰囲気も良いようで、楽しく学校に通っています。先生方が子どもたちの意見を尊重してくださっているから、子ども同士も意見を尊重し合っているように感じます。

○自主勉強に取り組むスタイルが身につけてきています。自分で思考しながら進める勉強をこれからも続けていけると、ますます力がついてくると感じます。

○信頼できる先生のもとで安心して学校生活を送ることができています。情熱を持って指導されている様子が、子どもを通して伝わってきます。

○読み聞かせの関係で、時折学校の様子を垣間見ることがあります。遅れて登校してくる子どもの対応、授業中うろつき回る子どもたちの対応等、勉強以外の対応に先生方が苦慮されている姿を見て、とても胸が苦しくなります。先生ひとりだけにお任せする問題ではないと感じます。保護者がお手伝いできるなら、協力したいです。

→ ありがとうございます。これらの声を励みに、また進んでいきます。